

うるま市 地域学校協働活動

地域学校協働活動本部名

宮森小学校地域学校協働本部、他24地域学校協働本部

(城前小学校、伊波小学校、与那城小学校、南原小学校、勝連小学校、平敷屋小学校、天願小学校、あげな小学校、田場小学校、具志川小学校、兼原小学校、高江洲小学校、中原小学校、赤道小学校、石川中学校、伊波中学校、与勝中学校、与勝第二中学校、あげな中学校、具志川中学校、高江洲中学校、具志川東中学校、津堅小中学校、彩橋小中学校)

活動の概要

◆代表的な活動

- ・交通安全指導・部活動指導・環境整備・読み聞かせ・給食配膳補助・学校行事運営補助
- ・学習支援(平和学習・家庭科授業補助・昔遊び体験)・地域未来塾

◆特徴的な活動

- ・うるま市石川地区こども防災リーダー研修会(城前小)
- ・地域との交流(町探検、公民館、地域のお店ヘインタビュー)(伊波小)
- ・かけ算九九の習得のお手伝い(天願小)
- ・地域講師によるキャリア教育(具志川小・中原小・兼原小)
- ・JA職員との野菜植え付け体験学習(中原小)
- ・地域学習(校外学習・地域巡り等)(南原小・具志川小・兼原小・平敷屋小)
- ・エイサー指導(田場小・中原小・平敷屋小・石川中・与勝第二中・あげな中)
- ・校区探検(平敷屋小)・道ジュネー補助(石川中)
- ・自治会10字の広報誌を学校に掲示(あげな中)
- ・地域と生徒を繋げるための地域生徒会の活性化(具志川中・あげな中)
- ・地域と連携した運動会(津堅小中)



うるま市石川地区こども防災リーダー研修会 (城前小)



JA職員とのじゃがいも植え付け(中原小)



保存会の皆さんによるエイサー指導(与勝第二中)

◆工夫していること

- ・月に1回のお茶会(各自治会長と交通安全ボランティアの方々)を開き情報交換を行っている。(田場小)
- ・地域・自治会主催のイベント等も、学校から周知を行っている。(与那城小)
- ・屋慶名ミニデイ(クワディーサーの会)や照間デイサービスの方々と交流学習・給食を実施。(与那城小)
- ・地域人材、資源を授業や教育活動で活用するように働きかける。(中原小)
- ・学習面で支援を必要とする生徒に対し地域住民による学習支援活動が継続して行われている。(石川中)
- ・ボランティアカード作成し自治体等が実施するボランティア活動に参加すると押印でき、押印数に応じて段階ごとにボランティア認定をしている。(あげな中)
- ・各地域の情報を生徒に発信するために自治会のスクリレへの参加(具志川中)
- ・各自治会による定期的な見回り活動(高江洲中学校)
- ・老人会へ朝の交通安全見守り当番表を作成し、毎月持参している。(あげな小)

成果・効果・課題

○成果・効果 ☆課題 で分けて記入してください

- 【推】2か月に1回程度、自治会を訪問して情報交換を行っているため、ボランティア支援の呼びかけがしやすくなった。
- 【学校】地域の方々の協力・支援により、学校生活の中で児童の学習活動が充実し、学習意欲の向上に繋がった。
- 【学校】地域へ活動協力をお願いすることで、地域の方々が学校へ足を運ぶ機会が増加した。また、地域の方々の来校により、学校全体の安心感・信頼感が高まっている。
- 【学校】地域の方々の協力の結果、生徒に関わる時間に余裕が出てきた。
- ☆【推】ボランティアの年齢が高齢化し始めているので、もっと若い学生などを引き込みたい。
- ☆【学校】新たな地域人材の発掘。

宮古島市 地域学校協働活動

地域学校協働活動本部名

宮古島市地域学校協働本部(平良第一小学校、南小学校、北小学校、東小学校、久松小学校、鏡原小学校、西辺小学校、狩俣小学校、池間小学校、西城小学校、城辺小学校、福嶺小学校、砂川小学校、伊良部島小学校、平良中学校、北中学校、池間中学校、城東中学校、伊良部島中学校)

活動の概要

<代表的・特徴的な活動>

- ・祭祀・ミャークツツ
- ・池間島ヒャーリクツ
- ・海の体験学習
- ・朝の読み聞かせ
- ・登校時の交通安全指導



海の体験学習



池間島ヒャーリクツ



祭祀・ミャークツツ



朝の読み聞かせ



登校時の交通安全指導

◆工夫していること

- ・地域コーディネーターが季節毎の地域行事を、地域のボランティアと協力し参加の場を提供してくれている。
- ・体験学習等は危険な生物や怪我を避けるため、事前説明を徹底している。
- ・地域のマリン業者等にも声かけし協力を依頼することで地域と学校との交流を図っている。
- ・活動終了後は、毎回スタッフ一同と交流会を持つことで諸々の改善点を踏まえ、次回に活かしている。

成果・効果・課題

○成果・効果 ☆課題 で分けて記入してください

- 【コ】地域学校協働活動について、ボランティアスタッフとともに、継続して活動が出来ている。
- 【教委】地域コーディネーターを中心としたボランティアの方々の協力のもと多様な活動が出来ている。

- ☆【コ】放課後子ども教室の実施校が2校から3校へと増やすことが出来たが、他校にも広げていけるよう学校実施に向けて調整していきたい。
- ☆【教委】放課後子ども教室について、余裕教室がない学校でも実施する方法等を検討していきたい。

南城市 地域学校協働活動

地域学校協働活動本部名

南城市地域学校協働本部

玉城中学校、知念中学校、久高中学校、佐敷中学校、大里中学校

玉城小学校、船越小学校、百名小学校、知念小学校、久高小学校

馬天小学校、佐敷小学校、大里南小学校、大里北小学校

活動の概要

- ・玉城地区、知念地区、佐敷地区、大里地区にあるそれぞれのボランティア組織と地域ボランティアが、コーディネーターと連携し学校支援を行う
- ・授業、放課後、早朝などの学習支援(採点補助、個別指導)
- ・PTAを中心とした読み聞かせ
- ・ボランティアが自然案内や市内史跡等、地域案内を行う総合学習や環境教育
- ・平和学習
- ・朝の交通安全指導
- ・運動会にむけての空手指導(馬天小)

◆工夫していること

- ・公式LINEアカウントを活用してボランティア募集を行い、全地区に人材共有を行っている。
- ・ボランティア証明書の発行を導入し、学生の参画が増えるよう工夫している。
- ・ボランティアに入る際の心得を作成し、ボランティアの方々に配布している。
- ・学校側とボランティアの希望をきちんと把握し、双方の希望に合うよう適切にコーディネートできるよう心がけている。
- ・PTAや学生など幅広い人材が学校と関われるように道筋を作ることも意識している。



成果・効果・課題

○成果・効果 ☆課題 で分けて記入してください

○【コ】島尻地区で活動している地域学校協働活動推進員や地域コーディネーター及び放課後子ども教室コーディネーターが集い、それぞれの活動内容を共有し、課題等について話し合うなど主体的に学び合うことで、市町村の枠を超えたネットワークを構築し資質向上を図った。

☆市内のボランティア団体の解散もあることから、ボランティア者のとりまとめや依頼先の把握など謝金の支払いについて検討が必要。

☆各学校の野外活動においてマイクロバスの供給が追い付いていない。

本部町 地域学校協働活動

地域学校協働活動本部名

本部町地域学校協働本部
(本部小学校、本部中学校、上本部学園、瀬底小学校、伊豆味小中学校)

活動の概要

◆ 代表的・特徴的な活動

- ・朝の登校見守り
地域の老人会と協力し、登校時の交通安全活動を行った。
- ・学習発表会の指導(三線)
地域ボランティアが三線を指導し、学習発表会で発表することができた。
- ・朝の登校見守り
地域の団体(渡久地警防団)と協力し、登校時の交通安全活動を行った。
- ・読み聞かせ
地域ボランティアを募り読み聞かせを実施。



学習発表会

◆工夫していること

地域コーディネーター、放課後子ども教室コーディネーター等で構成するグループLINEを活用した。他校の活動の様子等もタイムリーに共有することができた。

成果・効果・課題

○成果・効果 ☆課題 で分けて記入してください

○【コ】学習発表会で地域の伝統芸能(豊年祭の踊りや三線)を発表した。これをきっかけに指導に携わった地域の方と子ども達との繋がりを築くことができた。子ども達は地域の伝統芸能への関心を高める機会となった。

☆【教委】ボランティアが固定化している。新しいボランティアを発掘するため、周知活動に取り組みたい。

恩納村 地域学校協働活動

地域学校協働活動本部名

恩納村地域学校協働本部

活動の概要

【地域との連携】

- ・習字の先生
- ・お菓子作りサポート
- ・職業人講話
- ・平和講演
- ・サンゴ観察
- ・マナー講座
- ・クリスマスリース&
みつろうキャンドル作り



(お菓子作りサポート)

【村職員との連携】

- ・環境学習フィールドワーク
- ・平和学習フィールドワーク
- ・まちたんけん
- ・歌碑めぐり
- ・歴史ロード散策
- ・干潟観察
- ・河川生きもの観察
- ・地層見学
- ・役場ロビーでの販売体験活動



(地層見学)

◆工夫していること

- ・学習に係る活動について、一つの学校の取り組みを他校にも共有している。
- ・校外学習時のマイクロバス運転手は、学校と連携し保護者を含めて依頼できるようにしている。
- ・教諭から本部への支援依頼について、今年度からweb上の申請フォームを用いて行うようにし、申請状況を随時把握できるようにした。本部から教諭への連絡手段については、メール、電話、FAXなどそれぞれの教諭が連絡を取りやすい方法に合わせて連絡手段を変えている。

成果・効果・課題

○成果・効果 ☆課題 で分けて記入してください

○地域のボランティアさんが学校に入れるようになり、これまでの活動から発展した取り組みができた。

○地域の方が関わることで学校に活気が出た。地域とのコミュニケーションをとるいい機会になっている。

○行政が進めているSDGs活動を推進するために、村職員が学校に関わる機会が多くなっている。

○楽しく活動している。自分ができることであればいつでも子どもたちのお役に立ちたい。

☆新たなボランティア人材の発掘、確保、維持 活動内容の周知・広報

読谷村 地域学校協働活動

地域学校協働活動本部名

読谷中学校地区地域学校協働本部、古堅中学校地区地域学校協働本部
(構成学校) 渡慶次幼稚園、読谷幼稚園、喜名幼稚園、古堅幼稚園、古堅南幼稚園、渡慶次小学校、
読谷小学校、喜名小学校、古堅小学校、古堅南小学校、読谷中学校、古堅中学校)

活動の概要

【地域学校協働活動】

- ・平和学習の戦争体験講話
- ・新入学準備(靴箱等のネーム張り等)
- ・ミシン補助・全国学力状況調査データ入力作業
- ・視力、歯科、内科健診の児童整列補助・早下校時の交通安全指導
- ・不登校寄り添い支援・高校入試に向けた模擬面接等



【土曜教育支援体制等構築事業】

読谷村土曜教育支援体制等構築事業として、赤犬子 子ども三線・箏・太鼓・琉球笛クラブを実施。
児童生徒の土曜日の居場所づくりを創出しながら、地域の人材による琉球古典音楽並びに琉球民謡の
演奏技術の習得を図る。世代を超えた師弟関係から社会性を学び、琉球音楽の世界観を学び習得する
ことで、郷土(沖縄県読谷村)への誇りを感じてもらい、地域人材育成を図ることを目的とする。

◆工夫していること

【地域学校協働活動】

- ・ボランティア活動がスムーズに取りかかれるように活動推進員は事前調整に努めている。
- ・今年度は、高校生ボランティアの募集にも力を入れて取り組んだ。
- ・定期的に学校との情報交換等を行い、ニーズの把握とマッチングを学校と連携を図り行っている。

【土曜教育支援体制等構築事業】

読谷村文化協会所属の古典演奏者が講師となり、受講者の
技術に応じた指導を実施。
三線クラスの場合は初心者クラスD、中級クラスC、初級地謡
養成クラスB、上級地謡養成クラスAに修了年数及び技量に
応じて分けられる。
児童生徒の居場所づくりに留まらず、成果を発表する場
(ゴール)を見据えた指導と鍛錬の場所となり、文化村読谷村を下支えする仕組みになっている。



成果・効果・課題

○成果・効果 ☆課題 で分けて記入してください

【地域学校協働活動】

○教師の負担軽減、地域連携による子育て支援への体制の構築が図れている。
☆関わり合う場所と役割の理解を求める事が必要であり、推進員の人材確保・適正な配置・人員
に関しては考える必要がある。

【土曜教育支援体制等構築事業の取組】

○今年で51回目を迎える「読谷まつり 受け継ごう読谷(ふるさと)の心」に総勢200名超の児童
生徒が出演した。また、くるちの杜シンポジウムへの出演など、日々の練習の成果を披露すると
ともに地域に愛着を持つ人材育成と伝統文化の継承に寄与している。
☆初心者及び、小学生から中学生へ伝統文化の楽しさをどう分かりやすく指導し、やる気を向上
させ維持していくこと。また「続けたい」という思いをもってもらうことが最大の課題。

嘉手納町 地域学校協働活動

地域学校協働活動本部名

嘉手納小学校地域学校協働本部、屋良小学校地域学校協働本部
嘉手納中学校地域学校協働本部

活動の概要

嘉手納小学校
読み聞かせボランティア
平和学習

屋良小学校
週1回定期訪問
読み聞かせボランティア
校外授業



◆工夫していること

- 週1回の定期訪問により先生方とのコミュニケーションを積極的に行っている。
- お手紙、保護者連絡アプリを通して保護者への参加呼びかけ。
- 地域ボランティアについては、読み聞かせOBを通じて呼びかけ。
- 初めてでも気軽に参加できるような雰囲気作りと声かけ。
- 無理せず自分が楽しんで参加することを大切にしている。

成果・効果・課題

○成果・効果 ☆課題 で分けて記入してください

- 先生方と連携することでスムーズなカリキュラムの進行と内容の濃い授業の開催に繋がっている。
- 気軽に参加してくれる方が増えた。
- 呼びかけを工夫したことにより参加者が増えた。

- ☆学校、ボランティア、コーディネーターの繋がりの結果について情報発信が必要。
- ☆講師が毎回同じ方になっている。
- ☆コーディネーターの確保が難しい。